近現代建築の歴史的・文化的価値の評価

関連するSDGsの国際目標



環境科学部　環境建築デザイン学科　　准教授　　玉田　浩之
研究分野：近代建築史、歴史的建築の保存・再生・活用

概要：近代の歴史的建築物や都市空間の調査研究を行っています。歴史的建築物の歴史的・文化的価値を明らかにすることによって、建築物の保存・再生・活用を支援します。

■近現代の建築や都市の歴史的研究

近現代の建築物の歴史や沿革、そこで用いられた技術や造形、設計意図や地域性などを調査し、その建物が有する特異性を明らかにします。また、近代都市の歴史研究により、都市空間の形成の過程を明らかにします。

■近現代の歴史的建築物の調査分析

近現代の建築物は文化財の対象になりつつあります。文化財の候補となる歴史的建築物を掘り起こし、実測や史料調査を行いながら、歴史的な位置付けや文化的な価値評価を行います。調査結果を踏まえて、各地の歴史的建造物を保存再生しようと取り組む建築技術者と連携し、支援や助言を行います。



増田友也設計「衣笠山の家」（1964年竣工）の実測調査



「衣笠山の家」3Dスキャン画像（点群データによる記録）